



2026年1月25日(日)  
1月第四主日礼拝式  
＜教団・国内宣教デー＞

# 「さあ賛美しよう」

(詩篇18:46)

さあ賛美しよう 救い主イエスに

さあ賛美しよう 救い主イエスに

ホザナ たたえよう

賛美しよう 救いの岩

ホザナ たたえよう

賛美しよう 救いの岩に

123 主よ、おおいたまえ

主よ 御手の中に

あなたの義の中に

その聖さの中に おおいたまえ

わざわざいより守られて

恐れは もはや消える

あなたの愛の御手で おおいたまえ

新聖歌 2番 「たたえよ救い主イエスを」

- 1 たたえよ救い主イエスを くすしき愛をば宣(の)べ  
あがめよ み使いとともに とうとき主の御名をば  
か弱き われら羊を 飼い主イエスはいだく  
  
\* たたえよ たぐいなきみいつ たたえよ 声も高く
- 2 たたえよ 人の罪ゆえに 十字架につきしきみを  
きみこそ とこしえの岩よ 変わらぬ わが望みよ  
心のやまいことごと いやされ やすき受けぬ (＊)
- 3 たたえよ栄えあるイエスを 御国の かどゆるがせ  
ときわに すべたもうイエスに かむりをささげまつり  
まもなくイエスは来たりて あまねく地をばおさめん  
(＊)

アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌140番 「天つみ使いよ」

- 1 あまつみ使いよ イエスの御名の  
力をあおぎて 主と あがめよ ×2
- 2 いのちをささげし あかしびとよ  
ダビデのみすえを 主と あがめよ ×2
- 3 世(よ)の罪びとらよ イエスの愛と  
悩みを思いて 主と あがめよ ×2
- 4 よろずの国びと み前にふし  
みいつをあおぎて 主と あがめよ ×2
- 5 永遠(とわ)に世をしらす イエスキみにぞ  
冠り(かむり)をささげて 主と あがめよ ×2 アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン